



町長エッセイ

まちづくりは走り続けるストーリー

みなさんこんにちは

今年は、秋の収穫期に台風などの大きな被害も無く大変うれしく感じています。

先日、「魅力ある地域づくりが客を呼ぶ」というテーマで、NHKの連続テレビ小説「風のハルカ」のロケ地、湯布院（大分県）の立役者2人の講演を聴いてきました。

30年前は一寒村であり、自然しかなかった湯布院を、三代の仕事として一つの目標に向かう思想や柱を作った人達の話です。情報公開とか、長い道のりの中での人脈観光、跳んでる人を跳ばし続ける地域づくり、非日常ではなく希望的な日常を感じてもらおう事など、これからのまちづくりや観光を考える上でのヒントが満載の会でした。

本町も、農業や自然といった素晴らしい環境は山ほどあります。それを活かせるかどうかはやる気と、目標の設定と、一步を踏み出す勇気だけなのです。

どこにも「始め」はあります。まちづくりとは、「走り続けるストーリー」として、これからも皆で力を出し合って行きましょう！住民の一人ひとりが自分に出来ることに挑戦し続ければ、親、子、孫の三代にわたる努力は必ず報われるのです。

庄内町長

原田真樹